平成11年6月8日第三種郵便認可（年4回2・5・8・11月の10日発行）そうせい 第150号 平成22年8月10日発行

全国曹洞宗青年会

第18期全曹青会執行部スローガン
〝いのちの声に耳を澄ます〟

SouSei

そうせい　2010年8月　No.150

特集

全曹青、発信せよ。
～平成22年度初頭の点描～

souSei

No.150 CONTENTS◎目次

3 特集 全曹青、発信せよ。～平成22年度初頭の点描～
花まつりキャンペーン　ご協力ありがとうございました！
仏法興隆花まつり千僧大般若法要
平城遷都祭2010『平和への讃歌 ～ピースメッセージ～』
静岡第三同志会 創設四十周年記念大会 併催 平成22年度禅文化学林『光明～輝きを求めて～』
電話相談員養成発展研修会
平成22年度 全国曹洞宗青年会定期評議員会・総会

9 全曹青第４期会長 故･桑原大宗老師を偲んで

10 平成22年度 会計報告

12 加盟団体ニュース･スポット
第25回曹洞宗北海道青年会釧路大会
九州曹洞宗青年会総会ならびに研修会

14 souseiぱれっと静岡第三同志会

16 賛助費浄納御芳名簿

18 お坊さん婚活心得 2

19 お寺暮らしのライフデザイン 2

20 寺めぐり 街めぐり 5
修行道場としての伝統を受け継ぐ
松渓山智源寺を訪ねて

23 メメント 生死を想う 5

※都合により「あまんずのダイローグ」は休載致しました。

表紙写真：制作・撮影／日山賢吾（三重県 栖雲寺）

仏様の命をいかす

私たちハロークリーンは、「伝統あるお寺様とご先祖様をもっと身近に」をモットーに匠の技で全力を尽くす事をお約束します。

今回 SOUSei 本誌にてご縁を頂きました山口県下関市　曹洞宗　飯倉寺様（全曹青 10 期会長様）をご紹介させて頂きます。

施工内容はご本尊様の洗浄・彩色（螺髪・目・唇の古色仕上げ）と常花のクリーニングです。当日は 10 数名にのぼる檀家様がお手伝いに来て頂き終始和やかに進み作業終了後は皆さんと写真撮影大会と成りました！！

ご住職様からは綺麗になり尚面影も残り大変満足！お寺が明るくなりました！何より檀家さんがこんなに喜んでくれて嬉しい。とのお言葉を頂きスタッフ一同感謝の気持ちで一杯に成りました。

お見積もり無料（北海道から鹿児島県まで）

合い見積もりでも構いません。参考資料として頂ければ幸いです。「由緒あるお仏像・仏具が今後も保存される為にも綺麗にし、子孫へ受け継がれる。」そんなお手伝いが出来ればと願っています。

ハロークリーンでは、晋山式を迎えるお寺様にお祝い特別価格ハローパック＋αをご用意しました。

ご位牌の手直しもいたします。他社で新品買い替えを勧められてもー度ご相談下さい。

齋藤商会
ハロークリーン
0120-918-388
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 4-22-13-1F
営業所：東京 愛知 愛媛　工場：大阪　　受付 AM8:00 ～ PM20:00
http://www.hello-clean.com　　E-mail h.c.2009@jewel.ocn.ne.jp

全曹青、発信せよ。
～平成22年度初頭の点描～

花まつりキャンペーン

ご協力ありがとうございました！

今期の総合企画委員会で企画致しました『花まつりキャンペーン』。おかげさまで、約３００の御寺院さまにご協力頂き、約３万人の人々に『花まつりセット』を頒布頂きました。

『花まつりセット』にて、静岡のおいしい甘茶、コスモスの花の種と共に同封した塗り絵ハガキは、３才のお子さまから90才のご年輩の方まで幅広い年齢の方々からご返信いただきました。多くの生き物に囲まれたお釈迦さまに色を塗る過程で、命のつながりの中で生きていること、そして自身がその一人であることに気付いて頂けたら、と念じて止みません。

ご返信いただきました塗り絵ハガキは、両大本山さまに納めさせて頂きます。また、ご返信いただいた方の中から抽選で記念品をお送りします。

ご協力いただきました皆さまに、委員会一同、心から感謝申し上げます。

返信された塗り絵ハガキを手にする総合企画委員会諸師

仏法興隆花まつり千僧大般若法要

平成22年4月26日(月)

4月26日に奈良県の東大寺において、「仏法興隆花まつり千僧大般若法要」が厳修されました。大仏殿での法要は全曹青の久間会長が導師を勤め、曹洞宗の転読大般若の儀則に則り厳粛な中行われました。引き続きアショカピラーで法要をした後、随喜衆は東大寺様のご厚意で、普段は一般公開をしていない、聖武天皇を祀る天皇殿を拝観。最後に随喜衆によって、一般の参拝者に花まつりにちなんで花の種が配られました。

平城遷都祭2010

『平和への讃歌 ～ピースメッセージ～』

平成22年5月9日(日)

平城遷都祭実行委員会主催による式典『平和への讃歌～ピースメッセージ～』が平城宮跡大極殿正殿前にて開催され約250名の宗教者が遷都祭を祝いました。

始めに「きよめ」として奈良県神道青年会が大祓詞(おおはらへのことば)を唱え会場を荘厳し「いのり」では仏教法要による散華や読経。「ちかい」では可愛い地元保育園児によって声高らかに平和宣言が誓われ、集まった多くの方々が特色のあるステージを楽しみました。

表白を奉読された宮寺守正師(全日本仏教青年会17期理事長・全曹青第16期会長)は「皆様のご尽力により、この様な素晴らしい式典が出来た事は本当に有難いです」とイベントを締めくくりました。

伎楽隊を先頭に大極殿へ向かう行列

公式テーマソング「ムジカ」を合唱

宗教者や一般市民が世界に向けて平和への祈りを発信

宮寺師による「平和への讃歌」表白

光明～輝き（きらめ）を求めて～

静岡第三同志会 創設四十周年記念大会
併催 平成22年度禅文化学林

静岡第三同志会創設四十周年記念大会・併催平成22年度禅文化学林が、平成22年6月11日(金)に静岡県掛川市の「ヤマハリゾート つま恋」にて開催されました。今回は、一般の参加者(86名)を含む353名の参加がありました。

大会当日は、大会実行委員会委員長尾崎寿光師の開会宣言の後に、記念法要(導師・大会長高橋浩道師)の「大般若祈祷会」が行われました。

その後、休憩をはさんで井上義臣老師を講師にお迎えして、「お経の功徳～なぜお経を読むのか」と題して仏教講座が行われました。

続いての記念式典では高橋浩道師より式辞が述べられた後、静岡県第3宗務所長駒形哲宗老師、同志会顧問櫻井孝順老師、全曹青久間会長の祝辞が述べられました。

そして、記念講演では田中良昭老師に「期待される僧侶像」と題してご講演頂きました。

PROGRAM ◎大会プログラム

日　時：平成22年6月11日(金)
会　場：ヤマハリゾート　つま恋
日　程：
13:00　受付
14:00　記念法要(大般若祈祷会)
15:00　仏教講座
「お経の功徳～なぜお経をよむのか」
講師：大本山永平寺 名古屋別院監院
花井寺住職　井上義臣老師
16:30　記念式典
17:00　記念講演「期待される僧侶像」
講師：駒澤大学総長 正林寺住職
田中良昭老師
18:30　懇親会

大会を振り返って。

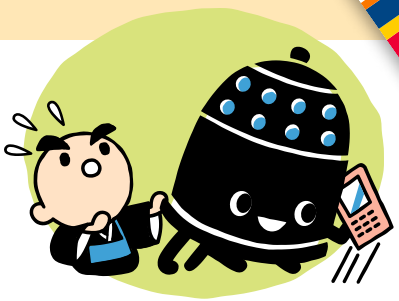
実行委員長　尾崎寿光

今大会では豊川市の井上義臣老師よりはお経を挙げる意味をご講演いただきました。そこには僧侶・衆生たちのいろいろな願いがこもっていると、おっしゃっておりました。我々青年僧侶は檀信徒のみならず地元地域のその願いに答える義務があるということです。

また、駒澤大学総長であられる田中良昭老師も一般の人々から見た僧侶像として、帰依(信頼)される僧侶・坐禅教義を説ける僧侶・儀礼主催者としての僧侶・人々と共に生き現代社会に生きる僧侶等を期待していると述べられました。まさしくいま我々が心では思い実行しなければいけないが踏み出していないことでした。

我々静岡第三同志会員は20代～80代近くのご老僧と幅広い終身在籍の会です。今大会では若い僧侶に配役をお願いし発言や行動の場を与えました。これをきっかけにもっともっと青年僧侶が活躍できますことを祈念いたしております。

トラブルケースについて参加者同士で話し合う



全曹青、発信せよ。
～平成22年度初頭の点描～

電話相談員養成発展研修会

開催レポート

第1回電話相談員養成発展研修会が、曹洞宗檀信徒会館5階研修道場にて、左記の日程で開催されました。

本研修会は、全国9管区で行われた基礎研修会を修了された方を対象としており、38名の会員諸師にご参加いただきました。

右記のプログラムは、電話相談窓口を開くために必要十分な知識を習得するために練り上げられたもので、ロールプレイを中心とした傾聴訓練のみならず、実際の窓口運営に必要な知識や危機管理の知識まで網羅した、相当に凝縮された内容でした。

ロールプレイも、自作のシナリオを使ったり、記録用紙に記入しながら相談を受けたりと、実際の電話相談により近い場面設定で行われました。

外部講師には、前田宥全師と精神科医の穂積登先生をお招きしました。

前田師からは、自死問題についてお話しいただいた後、参加者全員で手紙相談のワークを行いました。

穂積先生からは、日本における精神病在宅ケアの嚆矢（こうし）といえる岩倉大雲寺の事例を引きつつ、社会的な相互扶助ネットワークの大切さなどについてお話しいただきました。

今回ご参加いただいた会員諸師にとって、電話相談に限らず檀信徒の方などとのコミュニケーションに、今回の研修が糧となればと思います。受講された皆様、長時間の研修、本当にお疲れ様でした。

発展研修会スケジュール

日　時：平成22年6月28日（月）～29日（火）
場　所：曹洞宗檀信徒会館

研修スケジュール：

6月28日（1日目）

10:00　受付
10:45～11:15　開講諷経

◆発展研修①　（1.0+2.0時間）
11:20～12:20　傾聴・電話相談の特徴の復習
13:00～15:00　傾聴ロールプレイ※シナリオ自作

◆発展研修②　（0.5+1.5時間）
15:15～15:45　記録用紙の説明
15:45～17:15　記録用紙ロールプレイ

◆発展研修③　（1.0+1.0時間）
17:30～18:30　テーマ別ディスカッション（自死関連の相談）
19:15～20:15　テーマ別ディスカッション（うつ病、統合失調症等）

◆発展研修④　（1.0時間）
20:30～21:30　社会資源（地域社会ネットワークの形成）

21:30～21:45　事務連絡

6月29日（2日目）

◆発展研修⑤　（1.0＋1.5時間）
8:00～ 9:00　トラブルへの対応方法
9:15～10:45　トラブル対応ロールプレイ①※1対1形式

◆発展研修⑥　（1.5時間）
11:00～12:30　トラブル対応ロールプレイ②※グループ形式

◆発展研修⑦　（1.5＋1.0時間）
13:15～14:45　開設準備の方法
15:00～16:00　全体のふりかえり

16:00～16:30　閉講式・解散

参加者から様々な意見や質問をいただく

記録用紙を用いたロールプレイの説明

穂積先生は僧侶への期待もお話しされた

自死問題についてお話しされる前田師

電話相談員養成基礎研修会を終えて…

「電話相談員養成基礎研修会」のうち、前号で紹介できなかった東北管区と九州管区開催分の模様と、参加者の感想を紹介します。これで、「電話相談員養成基礎研修会」は、9管区すべてで開催することが出来ました。ご協力、ご参加頂きました諸師に、改めて御礼申し上げます。

東北管区

●人の心を扱うには、様々な危険もつきまとうと思います。特に西洋的心理学解釈に頼りすぎると却って人の心をもて遊ぶ事にも繋がってしまいます。洋の東西の学問や伝統の良い面を摂取しつつ、発展すると良いと思います。

●他の援助機関との連携等について具体的な方法について学びたい。

●ロールプレイを体験し、会話の中の沈黙に馴れていないので、どうしても自分から質問をしてしまうことが分かった。

●対面法よりも電話相談の方が相談者の話しやすさを気付きました。

九州管区

●傾聴についての、「結論を急がない」「思いこみで話さない」「自分の経験に重ねない」などの教えは、目から鱗だった。

●県単位で独自性を持った研修ができるようにしてほしい。

●法を理解し、発信することばかりになっていた。

●電話相談の現場で何らかの攻撃を受けた場合、防御や反撃等は誰が責任を持って行なうのか。

●宗侶は足下を見直すべき。相談を受ける資格はない。

www.akashibutudan.com

「本気宣言（マジ・センゲン）」この混沌とした世の中に必要なのは、心の鏡と宣言致します。
お佛壇は心の鏡と宣言致します。当社は「世界にひとつだけの、お佛壇」をお届け致します。

信州いいやまあたご寺町雁木通り 株式会社 明石佛壇店 代表取締役社長 明石 洋一

造ります！ひとつだけのお佛壇

明石佛壇店

全曹青、発信せよ。
～平成22年度初頭の点描～

平成22年度　全国曹洞宗青年会

定期評議員会

定期評議員会・総会

概要

5月13日(水)午後1時30分より、曹洞宗檀信徒会館3階桜の間に於いて、平成22年度全国曹洞宗青年会定期総会が開催されました。

前日12日(火)には、定期評議員会が開かれました。

総会当日は、午前10時30分より、「いのちの声に耳を澄ませば～観世ふぉんに届いた声を検討する～」と題して、中央研修会が開かれました。昨年11月1日より始めた観世ふぉん(全曹青電話相談窓口)の報告と観世ふぉんに届いた事例報告と事例検討が行われました。また、研修テーマである「私たち宗侶が行なう電話相談は、傾聴のみでよいのか?」について、ディスカッションが行われました。

総会は、開会の辞の後、本尊上供・宗歌斉唱が行われました。続いて、教化部長の宮下陽祐老師、大本山永平寺別院長谷寺監院・武田秀嗣老師、大本山總持寺監院・横山敏明老師より御挨拶を頂きました。続いて、久間会長による挨拶の後に、議長団の選出が行われ、議事進行の結果、左記の議案が承認されました。

第1号議案　平成21年度事業及び決算報告、監査報告の承認について
第2号議案　平成22年度事業計画(案)及び予算(案)の承認について
第3号議案　特別委員会の設置について
第4号議案　災害復興支援体制整備について
第5号議案　第19期全国曹洞宗青年会会長選考の経過報告

議案承認の様子

中央研修会のロールプレイ

全曹青第4期会長

故・桑原大宗老師を偲んで

静岡県　栄林寺住職　櫻井孝順
（第4期事務局・第5期会長）

曹洞宗青年会第4期会長桑原大宗老師の御遷化にあたり、謹んで哀悼の意を表します。

師は、昭和57年青年会創設期から組織拡充に向かう時期での就任、又前年には大本山永平寺二祖国師大遠忌奉修にあたり、青年僧侶結集・各管区の連携・各曹青会がそれぞれ会員拡大や地方色豊かな事業が展開されようとする時期でもありました。会長就任にあたり、スローガンに「みずからの行履をもとめて」を掲げられました。組織充実を図る為には、全曹青が時代の要請に応えるべき役割を明確にすること・各曹青会が地方の文化と禅の融合を図ること・青年僧個々そのまま教化者である以上に地域における社会的責任を担う若者として求められることに自覚を促すことを訴えられました。教化者として人材の意識と連帯が組織の継走に欠かせないものと考えられておられました。そして事業展開では、創始の精神を礎に歴代の諸役員と机を囲み、明日の全曹青を語る討論会の開催、更に常任講師の助言を得て『曹青通信』の改編・各種行事の教化テキストの発行、地方曹青会の活動を網羅する『曹青のあゆみ』など広宣活動の充実に心された功績は大なるものがありました。師の言動に多くの共鳴を受けた根底には、昭和52年新潟県四宗務所の青年僧侶を取りまとめ、新潟県曹洞宗青年会の設立に尽力され、初代会長を務められたことです。特筆すべき事業は、子供禅の集い運動として『坐・ハングリー』は体験学習の中で子供達へ坐禅への親しみ、食をいただく喜び、感謝を見出すユニークな事業であったと思われます。

師は、全曹青の会長になられてからも檀務や地域社会奉仕活動を常に念頭に置かれ、午前中は斉経に廻られ、会議の時間に遅れることもしばしばありましたが、笑顔で手を挙げて「どうも、どうも」と親しみのある方でした。禅文化事業で思い出すことは、大雄山最乗寺の「青年授戒会」のことであります。師は、瑞光寺（新潟県新潟市）副住職の立場を踏まえ、自ら会長の任であたるべき引請師を副会長清涼寺住職故村瀬信行師に譲られたことは、宗侶として威儀とわきまえられておられたと思います。

この度も本葬儀翌日に修行される新潟青年授戒会の引請師をおつとめされる矢先の遷化。何の因縁でありましょうか。

師の故郷である新潟ゆかりの良寛様。良寛会の重鎮であった師は、良寛様没後150年追悼の法会をおつとめされ、良寛様の遺徳を全国に知らしめられました。

本葬儀の当日（5月29日）『新潟日報』新聞紙面の良寛詩は

春の野に若葉摘みつつ雉子の声
聞けば昔の思ほゆらくに

と記されていました。

遠い昔のあれこれを思い浮かべ、お棺の周りに集まった10人の孫たちと和やかな日々をお慕いつつ…合掌。

〈上〉全曹青会長当時、演台にて
〈下〉平成16年大本山永平寺拝登の折に
写真提供：新潟市瑞光寺様（上下共）

全国曹洞宗青年会平成21年度特別会計（周年事業基金）報告

平成21年4月1日～平成22年3月31日

歳入総額	¥2,000,000円
歳出総額	¥0円
差引残額	¥2,000,000円

歳入の部　（単位：円）

項　目	金　額	備　考
前年度繰越金	¥2,000,000	
合　計	¥2,000,000	

歳出の部　（単位：円）

項　目	金　額	備　考
	¥0	
合　計	¥0	

全国曹洞宗青年会平成21年度特別会計（ボランティア基金）報告

平成21年4月1日～平成22年3月31日

歳入総額	¥2,660,939円
歳出総額	¥0円
差引残額	¥2,660,939円

歳入の部　（単位：円）

項　目	金　額	備　考
前年度繰越金	¥2,560,939	
積　立　金	¥100,000	
合　計	¥2,660,939	

歳出の部　（単位：円）

項　目	金　額	備　考
	¥0	
合　計	¥0	

以上の通り報告いたします。

平成22年5月13日

全国曹洞宗青年会　会長　久間泰弘　㊞

会計　渡邉文敬　㊞

監査報告

平成21年度全国曹洞宗青年会、一般会計及び特別会計について、平成22年4月19日に東京都港区芝公園、曹洞宗檀信徒会館にて、会長、副会長立ち合いのもと、諸帳簿・証書・関係書類を監査したところ、収入・支出・残金ともそれぞれ合致し、適正かつ正確に処理されていたことを報告いたします。

平成22年5月13日

全国曹洞宗青年会　監事　香村一孝　㊞

監事　柳田彰宣　㊞

寺からの手紙　影山妙慧著　〈元気をもらう98章〉　寺に嫁いで20余年、日時用茶飯の中に仏教徒らしい在り方を求めて奮戦。　1680円

祈りで病気を治す　影山教俊著　祈りによる病気治しの方法を科学的に解明した「実践マニュアル」。CD付　1890円

寺と仏教の大改革　影山教俊著　現代仏教を再生する鍵は「いのちを養う」「救いと癒しの復権」にある。　1890円

修証義を読む　荒崎良徳著　〈幸福への道しるべ〉　豊富な体験にもとづく宗旨・宗派を超えた仏教入門書にして幸福指南書。　2940円

禅林名句辞典　飯田利行著　珠玉のごとき禅林の名句、詩偈を広く撰び、原文をわかりやすく訳し、典拠を示して解説する。　5250円

仏陀から道元への道　東隆眞著　〈インド・ネパール仏蹟巡礼記〉　道元の追求した釈尊を仏蹟に求める。　1890円

道元禅師のことば　小倉玄照著　道元禅師のことば142を選び、生活に即して解説した珠玉の提唱。　3990円

道元禅師の慕古　小倉玄照著　正法を慕った道元禅師の著作の中から「慕古（もこ）」の語を選び、その真髄に迫る。　2625円

道元思想の本質　五十嵐卓三著　〈道元禅師の垂語参究〉　道元禅師の思想形成の根幹に関わる問題を綿密に検証。　3990円

瑩山思想の本質　五十嵐卓三著　〈瑩山禅師の垂語参究〉　瑩山禅師の思想を丹念に掘り起こし史的に位置づける。　3990円

洞門禅文学集　飯田利行編訳　曹洞禅の漢詩文の傑作を「洞門禅文学」と位置づけ、格調高くわかりやすく現代語訳。　各6825円

道元　『正法眼蔵山水経』『宝慶記』「偈頌」を収録。

瑩山　『正法眼蔵』と双璧をなす『伝光録』から収録。

洞山　『洞山録』『宝鏡三昧』『新豊吟』『玄中銘』を収録。

壊奘・大智　『光明蔵三昧』『宝慶記』『大智偈頌』を収録。

世阿弥・仙嶝　『花伝書』『半仙遺稿』を収録。

良寛　生命を輝かせ、魂に響く名詩『良寛詩集』を収録。

耶律楚材　チンギス汗の宰相、湛然居士の詩的世界。

蘇東坡 禅喜集　飯田利行訳　蘇東坡（一〇三六～一一〇一）の禅味あふれる詩境を伝える幻の書の原文と名訳。　全2巻揃18900円

現代語訳建撕記図会　永福面山訂補／珍牛・大賢絵図／石龍木童訳註　道元禅師の生涯を絵と共に示す古典の初訳。　8400円

〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15　国書刊行会　TEL 03(5970)7421　FAX 03(5970)7427

平成22年度全国曹洞宗青年会歳入歳出予算書（案）

期間　平成22年4月1日～平成23年3月31日

歳入合計金額　37,287,580円
歳出合計金額　37,287,580円
差引残額　0円

歳入の部　△印は減（単位：円）

款	項	目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備考
1.会費	1.会費		13,024,500	12,435,500	△589,000	
		1.会費	1,524,500	1,435,500	△89,000	500×2871名
		2.賛助会費	11,500,000	11,000,000	△500,000	
2.助成金	1.助成金		15,500,000	15,900,000	400,000	
		1.事業助成金	15,000,000	15,000,000	0	宗務庁より
		2.協賛金	500,000	900,000	400,000	「そうせい」広告料等
3.諸収入	1.諸収入		6,080,378	7,516,994	1,436,616	
		1.事業収入	6,000,000	7,500,000	1,500,000	花まつり事業収入等
		2.雑収入	80,378	16,994	△63,384	寄付金・預金利息等
4.繰戻金	1.繰戻金					
		1.委員会費繰戻金				
5.繰越金	1.繰越金		2,545,122	1,435,086	△1,110,036	
		1.前年度繰越金	2,545,122	1,435,086	△1,110,036	
合　計			37,150,000	37,287,580	137,580	

歳出の部　△印は減（単位：円）

款	項	目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備考
1.事業費			24,300,000	26,450,000	2,150,000	
	1.委員会費		6,500,000	7,400,000	900,000	
		1.総合企画委員会費	1,500,000	1,700,000	200,000	別紙参照
		2.広報委員会費	2,200,000	2,300,000	100,000	別紙参照
		3.法式委員会費	1,300,000	2,100,000	800,000	別紙参照
		4.基幹事業委員会費	1,500,000	1,300,000	△200,000	別紙参照
	2.広報費		10,800,000	12,350,000	1,550,000	
		1.印刷費	3,100,000	2,800,000	△300,000	「そうせい」印刷費
		2.編集費	3,500,000	5,200,000	1,700,000	「そうせい」編集費
		3.封筒印刷費	600,000	850,000	250,000	
		4.発送費	3,600,000	3,500,000	△100,000	「そうせい」郵送代等
	3.本部事業費		6,500,000	6,500,000	0	
		1.本部事業費	6,500,000	5,500,000	△1,000,000	電話相談事業・花まつり事業等
		2.禅文化学林開催費	0	1,000,000		禅文化学林開催費
	4.研修費		500,000	200,000	△300,000	
		1.研修費	500,000	200,000	△300,000	中央研修会等
2.運営費			10,600,000	9,837,580	△762,420	
	1.会議費		8,000,000	7,500,000	△500,000	
		1.役員会費	3,800,000	3,500,000	△300,000	執行部会・理事会
		2.総会費	4,200,000	4,000,000	△200,000	総会・評議員会
	2.事務費		500,000	500,000	0	
		1.印刷消耗品費	150,000	150,000	0	
		2.通信費	300,000	300,000	0	
		3.備品費	50,000	50,000	0	
	3.渉外費		2,050,000	1,750,000	△300,000	
		1.助成金	500,000	600,000	100,000	管区大会 10万×6管区
		2.慶弔費	300,000	300,000	0	管区大会祝賀 3万×6管区等
		3.負担金	250,000	150,000	△100,000	全日仏青加盟負担金等
		4.交通費	1,000,000	700,000	△300,000	管区大会・全日仏青等出向助成
	4.雑費		50,000	87,580	37,580	
		1.雑費	50,000	87,580	37,580	
3.積立金	1.積立金		600,000	600,000	0	
		1.基金積立金	100,000	100,000	0	ボランテイア基金積立
		2.積立金	500,000	500,000	0	次期執行部準備金積立
4.予備費	1.予備費		1,650,000	400,000	△1,250,000	
		1.予備費	1,650,000	400,000	△1,250,000	
合　計			37,150,000	37,287,580	137,580	

※尚、各項・目間の流用を認めるものとします。

以上の通り、予算を提案いたします。

全国曹洞宗青年会　会長　久間泰弘
会計　渡邉文敬

平成21年度全国曹洞宗青年会歳入歳出決算報告書

期間　平成21年4月1日～平成22年3月31日

歳入合計金額　37,861,372円
歳出合計金額　36,426,286円
差引残額　1,435,086円

歳入の部　△印は減（単位：円）

款	項	目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1.会費	1.会費		13,024,500	11,771,400	△1,253,100	
		1.会費	1,524,500	1,435,500	△89,000	500×2871名
		2.賛助会費	11,500,000	10,335,900	△1,164,100	2024件
2.助成金	1.助成金		15,500,000	15,590,000	90,000	
		1.事業助成金	15,000,000	15,000,000	0	宗務庁より
		2.協賛金	500,000	590,000	90,000	「そうせい」広告料等
3.諸収入	1.諸収入		6,080,378	7,213,567	1,133,189	
		1.事業収入	6,000,000	7,200,880	1,200,880	花まつり事業収入等
		2.雑収入	80,378	12,687	△67,691	寄付金・預金利息等
4.繰戻金	1.繰戻金			741,283	741,283	
		1.委員会費繰戻金		741,283	741,283	
5.繰越金	1.繰越金		2,545,122	2,545,122	0	
		1.前年度繰越金	2,545,122	2,545,122	0	
合　計			37,150,000	37,861,372	711,372	

歳出の部　△印は減（単位：円）

款	項	目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1.事業費			24,300,000	25,868,035	1,568,035	
	1.委員会費		6,500,000	6,500,000	0	
		1.総合企画委員会費	1,500,000	1,500,000	0	別紙参照
		2.広報委員会費	2,200,000	2,200,000	0	別紙参照
		3.法式委員会費	1,300,000	1,300,000	0	別紙参照
		4.基幹事業委員会費	1,500,000	1,500,000	0	別紙参照
	2.広報費		10,800,000	11,669,471	869,471	
		1.印刷費	3,100,000	3,400,329	300,329	「そうせい」印刷費
		2.編集費	3,500,000	3,984,750	484,750	「そうせい」編集費
		3.封筒印刷費	600,000	866,250	266,250	
		4.発送費	3,600,000	3,418,142	△181,858	「そうせい」郵送代等
	3.本部事業費		6,500,000	7,269,197	769,197	
		1.本部事業費	6,500,000	7,269,197	769,197	電話相談事業・花まつり事業等
		2.禅文化学林開催費	0	0	0	禅文化学林開催費
	4.研修費		500,000	429,367	△70,633	
		1.研修費	500,000	429,367	△70,633	中央研修会等
2.運営費			10,600,000	9,958,251	△641,749	
	1.会議費		8,000,000	7,989,246	△10,754	
		1.役員会費	3,800,000	3,175,482	△624,518	執行部会・理事会
		2.総会費	4,200,000	4,813,764	613,764	総会・評議員会・委員会総会
	2.事務費		500,000	421,515	△78,485	
		1.印刷消耗品費	150,000	100,743	△49,257	
		2.通信費	300,000	295,220	△4,780	
		3.備品費	50,000	25,552	△24,448	
	3.渉外費		2,050,000	1,534,900	△515,100	
		1.助成金	500,000	400,000	△100,000	管区大会 10万×4管区
		2.慶弔費	300,000	271,000	△29,000	管区大会祝賀 3万×4管区等
		3.負担金	250,000	150,000	△100,000	全日仏青加盟負担金等
		4.交通費	1,000,000	713,900	△286,100	管区大会・全日仏青等出向助成
	4.雑費		50,000	12,590	△37,410	
		1.雑費	50,000	12,590	△37,410	
3.積立金	1.積立金		600,000	600,000	0	
		1.基金積立金	100,000	100,000	0	ボランテイア基金積立
		2.積立金	500,000	500,000	0	次期執行部準備金積立
4.予備費	1.予備費		1,650,000	0	△1,650,000	
		1.予備費	1,650,000	0	△1,650,000	
合　計			37,150,000	36,426,286	△723,714	

※尚、各項・目間の流用を認めるものとします。
差引残額1,435,086円を次年度に繰り越し致します。

Active Report from Hokkaido

平成22年度　北海道管区大会レポート

第25回曹洞宗北海道青年会釧路大会

開講誦経風景

報告

初夏の好天に恵まれた6月10日、北海道釧路市に於きまして、第25回曹洞宗北海道青年会釧路大会が北海道第三宗務所青年会の主管により、北海道管区内の青年会員120名が参集し開催されました。

定光寺本堂での開会式、開講諷経が厳かに執り行われ、ご来賓の北海道第三宗務所所長中條寛道老師、全国曹洞宗青年会会長久間泰弘師のご祝辞を賜りました。

開会式に続き、定光寺会館に於きまして平成22年度総会、記念写真撮影が行われ、引き続きドキュメンタリー映画「GATE」の上映会が会員対象に行われ、平和への祈りや行動することの大切さを再認識いたしました。上映後は、お忙しい日程の中駆けつけていただいたマット・テイラー監督のご講演をいただきました。

定光寺での上映と並行して、釧路市生涯学習センターにて、釧路市近郊の一般市民を対象に映画「GATE」上映会・監督講演が行われました。多くの市民が真実の物語に感動し、監督の静かで力強い講演に熱心に聞き入っていました。

PROGRAM ◎プログラム

日　時：平成22年6月10日
会　場：釧路市定光寺、釧路全日空ホテル、釧路市生涯学習センター

●定光寺
14:00　受付
14:30　開会式
15:00　総会
15:50　記念写真
16:00　映画「GATE」上映会
17:50　マット・テイラー監督講演

●釧路全日空ホテル
19:00　懇親会

●釧路市生涯学習センター（市民向け上映）
17:30　開場
18:00　映画「GATE」上映
19:50　マット・テイラー監督講演

講師マット・テイラー氏

総会風景

釧路全日空ホテルでの懇親会では、釧路地域の食材を使った料理をいただきながら、広い北海道内の会員同士が懇親を深め、盛況の内に幕を閉じました。

今大会開催に際し、多くの方々の御支援、御協力、御指導を賜りましたこと、会員一同感謝いたします。

大会を振り返って

曹洞宗北海道青年会会長
副島 豊道

北海道の道東、釧路市での開催でしたので、参加会員は広大な北海道各地より車または電車、はては飛行機での移動と大変ご苦労されたと思います。

今大会の開催の目的を、私たち青年僧侶が開催地域の人々に何かしらの報恩行をさせていただき、そして地域や年齢をこえて集まった会員が、研鑽を積み、親交を深めることであると考えました。

今回は福岡県八女市星野村より「平和の火」を会場に運び、その火を集まった会員と釧路市民のみなさんとで一緒に見つめました。これをきっかけに平和への想いがより強いものになることを心より望んでいます。

Active Report from Kyusyu

九州曹洞宗青年会総会ならびに研修会

PROGRAM ◎プログラム

日　時：平成22年6月21日(月)～22日(火)
会　場：1日目「明光寺」懇親会・宿泊「博多都ホテル」
　　2日目「明光寺」
日　程：【第1日目】基礎研修Ⅲ［1.5h］
　　10:30～11:00　受付
　　11:00～11:20　開講式
　　11:20～12:00　総会
　　12:00～17:30　研修会
　　18:30～　懇親会(夕食)
　　【第2日目】
　　9:30～15:30　研修会

研修会風景

報告

梅雨で雨が心配されるなか、天気に恵まれ九州大会が開催されました。福岡県での開催ということもあり、専門僧堂である、明光寺様での開催でありました。今回は、研修会も同時開催ということで、九州各県、また、山口県曹洞宗青年会からの参加もあり、90名程の青年僧が集まりました。

総会においての議事は、滞りなく進み、スムーズな進行で研修会へと入ることができました。

一泊二日での研修会ということもあり、参加者には、疲れた表情もみうけられましたが、研修会での各青年僧の真剣な受講姿は、今後の曹洞宗の未来を表しているようで、各々が僧侶としての在り方を考えさせられているように思えました。

振り返って

九州曹洞宗青会
会長
村上 有紀

総会に引き続き研修会という、一泊二日に渡るハードな日程でしたが、基幹事業委員会皆様のスムーズな進行と、適切な説明もあり、非常に充実した研修で、「聴く」ということに重きをおいて勉強させていただきました。「ロールプレイ研修」において、相手を「観察」していく内に自分の「改善点」が分かり、僧侶として根底に持つべきものを再確認することができました。

「僧侶」として「当たり前」のことをしているという意識が大切であることを思い出させていただきました。

最後に総会並びに研修会において様々な皆様のご協力をいただき、無事円成することができましたこと、厚く御礼申し上げます。

合掌

研修会のロールプレイ風景

●●●●●梅花流法具販売指定店●●●●●
法衣・袈裟・打敷・寺院荘厳具・京仏壇・京仏具
株式会社 安藤
京都市東山区古門前通花見小路東入(〒605-0081)
0120-29-8161 法衣部
0120-29-8165 仏具部
0120-19-8168 贈答品部
東京店/東京都港区芝2－15－2(〒105-0014)
TEL:0120-3232-09
福岡店/福岡市博多区上呉服町12－7(〒812-0036)
TEL:0120-2143-22

Sousei ぱれっと

静岡第三同志会

沿革

静岡第三同志会は、「緑陰禅の集い」等で活動していた青壮年宗侶が中心となり、昭和45年6月13日に発起人石雲院　植村正道師、会長を観音寺　深川成典師とし発足しました。また、今年は創立40周年を迎える事ができました。

「世に不必要なもの、必要を説きえないものは存続することが出来ない。」という趣旨のもとに、より良い教化活動の道を模索求得しようと始まりました。当初の、同志相寄り、親睦に研修に、切磋琢磨の精進努力・和合の力を発揮し、生き生きとした布教活動を展開していこうではないかとの決意を引き継ぎ、現在活動しています。

当初から月例研修会(眼蔵会・法式研修)や、ＳＶＡを通じての東南アジアの国に段ボール２００箱以上の衣類等の寄付を行うなど盛んに活動し、サマースクールは今でも続いている行事のひとつです。

また、全曹青との関係も深く、第５期には栄林寺　櫻井孝順師が会長に就任しています。その他にも、執行部、各委員会にと多くの会員を出向させていただきました。出向した会員は貴重な経験をし、パイプ役となることで他の会員は全曹青をより身近に感じる事ができました。これからも全曹青との連係を密にして、お互い協力し合える関係を大切にしていきたいと考えています。

現在の活動

静岡第三同志会の主な活動として昨年度は、

▽7月　サマースクールを開催し、子供たちと夏に出来る事を通じて交流を行う。

▽8月　徒弟研修会を2泊3日の日程で高尾山石雲院で三時諷経、坐禅、略飯台などで子供と一緒に修行する。

▽12月　チャリティーバザーを行い、歳末助け合いなどの募金活動やチャリティーの売り上げなどを様々な団体に寄付。

▽3月　スキースクールを行い、春休みに子供たちと普段できないスキーやスノーボードなどのウインタースポーツで交流を行う。などを主な活動として行いました。

一昨年より徒弟研修会の子供たちと一緒にうどんを作り、『食育』を通じて三心を学びます。

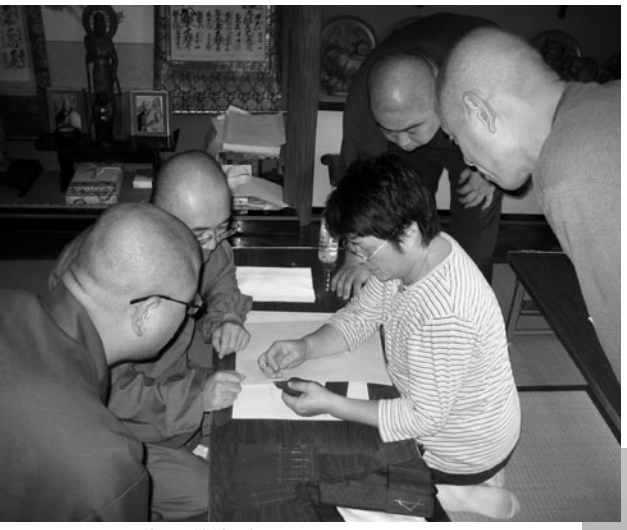
『喜心』…自分の作ったご飯を食べる喜びや物の命をいただく感謝を学ぶ。

『老心』…仲間と協力して汗を流してうどんを踏み、捏ね、切り、食べる人のことを思って食事を作る大変さを体験し、日々の食事の有り難さを感じる心を学ぶ。

『大心』…太いうどんや細いうどん、いろいろなうどんが出来上がるが自分で作るとおいしい！と感じて好き嫌いや偏食をなくす。

といった事が体験を通じて会得出来たらと考えています。

設　立	昭和45年6月13日
執行部	
会　長	高橋浩道
副会長	榎本隆宣　太田元三 鈴木亮秀　川口素見 中村真典
第三曹青会会長	尾崎寿光
第三曹青会副会長	福島英明　杉江知恭
全曹青評議員	尾崎寿光
事務局長	藍谷博文
事務局	正木勝良　西村元隆 松本尚仁
会　計	土屋賢道　植村公彦
会員数	166名(平成22年4月1日)



絡子の縫製を学ぶ

スキースクールの一コマ

そうせいサポーターズより

静岡県 第三宗務所長
駒形哲宗

静岡第三同志会は、本年創設40周年を迎え、6月11日に掛川市つま恋を会場に大勢の同志、檀信徒を集め大般若祈祷会を厳修し、善男善女の家内安全、更に世界平和を祈祷されました。

大勢の同志相寄る絶好の勝因、お互い胸襟を開いて宗門について語り合い、一仏両祖のみ教えを更に深め、研鑽された事に明るい将来を感じております。

今、時代の流れはあまりにも急激で人々の求めも多様の昨今「迷った時は基本に帰れ」と言われているように、自未得度先度他の菩薩行に徹して若い力を熱く展開してほしいと期待しています。

泰盛寺 寺族
正木須美枝

昨年10月より同志会の会員有志の方々と絡子作りを行い、その指導をさせていただきました。慣れない作業に戸惑いながらも、お釈迦さまやお祖師さま方への想いを馳せ、お袈裟のご縁に触れ、仏縁を深めながら1針1針縫い上げていました。今後も様々な活動を通じて檀信徒の皆様の模範となるよう、ますます修行を積んで戴きたく思いますし、そのお手伝いを出来る限りさせていただきたいと思います。

静岡第三同志会のココがすばらしい！

当会には他曹青のような年齢制限がありません。修行を終え師寮寺に戻ってきた青年僧侶から会の発足に関わり、40年の同志会の諸行事、諸活動に精通した老師まで非常に幅広い年齢で構成されています。

サマースクール、スキースクールといった年間行事は、盆彼岸などの寺院の繁多時に子弟をお預かりして、様々な体験を通じて心を養うといった理念で始まった行事と伝聞しています。会員の多くは幼少の時からそのような行事に参加することによって偈文やお経などに親しみ、青年になると今度は指導する側に回ります。『三つ子の魂百まで』ではありませんが、「○○は子供の頃はいたずらで…」といった話を耳にします。幼い頃から若いお坊さん＝同志会といった環境で育ってきていますので、活動に理解を頂いている御寺院様方が多いので、チャリティーバザーなど時の品物の供出などにも会員外の御寺院様方にもご協力いただいております。

静岡第三同志会のココが課題だ

40年という歴史の中には時代の流れなどにより取り止めや変更となった行事が多数あります。

現在の主な活動はこれからの時代を担う子供たちと共に研鑽を積み、布教や修行する事です。

1泊や2泊で行なっていた子弟参加行事も子供の減少や、学校の夏休みの変化などにより日帰りなどに変更をした行事などもありますが、泊まりでないと体験できない事柄もあるので、復活させる方法は無いものかと考えています。

また、同志会の年齢制限が無いということは、退会が無いという事になります。ある一定の年齢になると会の役職から外れると会との関わりが薄くなるように感じます。また、子弟教育に重きを置いた行事運営ですので、様々な年代の方々に参加、交流していただけるような魅力的な研修を企画、運営していきたいと考えます。

禅文化学林のお礼◎会長の挨拶文

静岡第三同志会会長
高橋浩道

静岡第三同志会は昭和45年に創設し、本年6月で40周年を迎えました。静岡第三同志会創設40周年記念大会に際し、全国曹洞宗青年会禅文化学林を招致して『光明～輝きを求めて～』を、6月11日に開催いたしました。全国より370名余の参加をいただき無事に円成出来ました事は御法愛の賜と、厚くお礼申し上げます。

今般の大会はささやかな通過点ではありますが、皆様に支えられてこの節目を迎えることが出来た大きな喜びを心に刻み今後も精進していく所存であります。

両大本山御用達
梅花流法具販売指定店
法衣・装束・荘厳・神仏具・贈答用記念品
株式会社 梅金商店
（全国曹洞宗法衣同業会会員）
〈本　社〉〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目39番33号
（大須交差点東北側）
TEL(052)241－0901(代表) FAX(052)241－1904

●大分県
35　長流寺　様

●長崎県第１
3　永昌寺　様

●佐賀県
15　静元寺　様
108　光明寺　様
114　広厳寺　様
118　養寿寺　様
187　功岳寺　様
194　普恩寺　様

●熊本県第２
79　向陽寺　様

●宮崎県
17　慈眼寺　様

●長野県第１
49　信叟寺　様
99　天照寺　様
105　福泉寺　様
147　徳應院　様
265　蕃松院　様
300　威徳院　様
306　城光院　様
322　守芳院　様
338　長谷寺　様

●長野県第２
373　頼岳寺　様
549　自慶院　様
557　廣正寺　様
565　阿弥陀寺　様

●福井県
9　永昌寺　様
69　龍門寺　様
100　永厳寺　様
130　宗栄寺　様
196　空印寺　様
291　福聚寺　様

●富山県
54　大淵寺　様
95　瑞祥寺　様

●新潟県第１
321　種月寺　様
342　光照寺　様
357　永明寺　様
362　長禅寺　様
366　清岩寺　様
368　正通寺　様
373　常福寺　様
382　光照寺　様
408　昌福寺　様
462　正眼寺　様
477　龍泉院　様
496　長楽寺　様
500　観泉院　様
768　大仙寺　様

●新潟県第２
681　総源寺　様

●新潟県第３
514　長命寺　様
525　大光寺　様
541　善福寺　様
544　慶福寺　様
546　清月寺　様
571　転輪寺　様
802　十王寺　様

●新潟県第４
9　東陽寺　様
23　観音寺　様
185　見国寺　様
196　香伝寺　様
222　正続寺　様
255　龍皐院　様
265　東林寺　様
288　宝蔵寺　様
296　関泉寺　様
297　瑞雲寺　様

●福島県
9　宝積寺　様
23　東源寺　様
25　安洞院　様
41　石雲寺　様
47　光現寺　様
63　昌源寺　様
79　西松寺　様
99　茂林寺　様
101　成林寺　様
110　龍徳寺　様
121　長泉寺　様
131　天性寺　様
143　西光寺　様
162　昌建寺　様
175　天沢寺　様
188　頊宣寺　様
246　長徳寺　様
262　蒼龍寺　様
274　龍門寺　様
277　海嶽寺　様
312　天徳寺　様
318　安穏寺　様
338　西光寺　様
352　大同寺　様
401　常楽寺　様

●宮城県
1　昌伝庵　様
9　瑞雲寺　様
16　林香院　様
60　柳澤寺　様
114　東禅寺　様
129　自得寺　様
203　洞雲寺　様
286　統禅寺　様
301　洞源院　様
319　大永寺　様
324　光厳寺　様
414　虎溪寺　様
420　玖光院　様
427　雙林寺　様
440　城國寺　様

●岩手県
21　恩流寺　様
52　福蔵寺　様
75　宗青寺　様
120　菅生院　様
122　石洞寺　様
123　宝城寺　様
124　西光寺　様
149　耕雲院　様
244　江岸寺　様
270　海蔵寺　様
278　宝鏡院　様
290　長泉寺　様
295　東海寺　様
300　實相寺　様
305　圓通寺　様

●青森県
6　正光寺　様
13　嶺松院　様
22　恵林寺　様
30　永泉寺　様
74　浮木寺　様
79　法光寺　様
80　法円寺　様
94　洞円寺　様
98　東光寺　様
99　正法寺　様
100　澄月寺　様
101　聖福寺　様
105　東昌寺　様
183　大乗寺　様

●山形県第１
104　長松院　様
208　普門寺　様
241　福昌寺　様

●山形県第２
267　慈眼院　様
285　泉高院　様

●山形県第３
430　全洞寺　様
449　宝積寺　様
468　宗伝寺　様
596　永福寺　様
606　流泉寺　様
635　宝護寺　様
669　寶恩寺　様
671　海禅寺　様
683　帝立寺　様
718　長渕寺　様
728　泉宝寺　様
738　善応寺　様

●秋田県
17　補陀寺　様
31　本明寺　様
78　大蔵寺　様
85　寶圓寺　様
95　蔵昌寺　様
103　長谷寺　様
120　秀泉寺　様
162　祥雲寺　様
184　護昌寺　様
195　天仙寺　様
206　松雲寺　様
260　松庵寺　様
281　月宗寺　様
296　新田寺　様
302　天昌寺　様
308　実相寺　様
321　鏡得寺　様
323　恩徳寺　様

●北海道第１
43　大円寺　様
78　正林寺　様
90　含笑寺　様
94　曹源寺　様
96　観音寺　様
99　全久寺　様
254　北大寺　様
257　高台寺　様
353　龍宝寺　様
371　高正寺　様
468　養福寺　様

●北海道第２
112　菩提寺　様
121　由仁寺　様
181　永祥寺　様
239　禅昌寺　様
279　西乗寺　様
299　永福寺　様
419　龍門寺　様

●北海道第３
151　大沢寺　様
267　天恵寺　様
312　法泉寺　様
460　道貫寺　様

全国曹洞宗青年会の
活動は皆様の賛助費に
支えられております。
この度もご協力頂き誠に
有難うございました。

賛助費払込票通信欄より

今期の『sousei』を拝読して、電話相談員研修を始めら れるなど、今、仏教寺院に求められることへの取り組み の意欲は感じますが、仏陀の教えを奉ずる仏教の徒であ りながら、なぜお釈迦様の教えに還ろうとしないのか、 少なからずもの足りなさを覚えます。わが宗門は、坐禅 を通じて社会に貢献してくことが最も相応しいことでは ないでしょうか。

よく参禅者の方から「毎日坐禅をしているお寺が、近 隣にはない」と仰ります。曹洞宗の未来を背負う青年僧 侶の方々には、例えば「一日一(坐) 禅」を標語として坐 禅を学び、修行して頂きたいと、切望致します。

◎総会祝賀芳名単

大本山永平寺別院長谷寺　様
大本山總持寺　様
愛知県第一曹洞宗青年会　様
茨城県曹洞宗青年会　様
秋田県曹洞宗青年会　様
成林寺　様
海徳寺　様
善教寺　様
興昌寺　様
宗栄寺　様
法光寺　様
正禅寺　様
洞覚寺　様
清福寺　様
岩安寺　様
林屋院　様
長香寺　様
海泉寺　様
闡福寺　様
信寺　様

賛助費浄納御芳名簿

平成22年 3/1～5/31

●東京都
3 俊朝寺 様
25 慈眼院 様
57 功雲院 様
96 海雲寺 様
105 鳳林寺 様
106 観泉寺 様
160 喜運寺 様
175 泰宗寺 様
177 清巖寺 様
200 祝言寺 様
208 正洞院 様
240 東雲寺 様
302 桂福寺 様
371 円明寺 様
395 道了寺 様

●神奈川県第1
272 珠泉院 様

●神奈川県第2
14 傳心寺 様
16 正観寺 様
27 東林寺 様
83 正翁寺 様
184 龍鳳寺 様
394 長尾寺 様

●埼玉県第1
1 金剛寺 様
6 法性寺 様
16 慈眼寺 様
59 長龍寺 様
106 光巌寺 様
116 梅田寺 様
161 建福寺 様
190 廣徳院 様
420 東雲寺 様
441 金剛寺 様

●埼玉県第2
206 栄林寺 様
227 東陽寺 様
331 曹源寺 様
368 東昌寺 様

●群馬県
3 龍海院 様
15 天増寺 様
68 慈願寺 様
99 龍傳寺 様
276 陽雲寺 様
297 福巌寺 様
338 龍松寺 様
355 教徳寺 様

●栃木県
1 成高寺 様
26 宝光寺 様
43 東光寺 様
47 繁桂寺 様
67 海潮寺 様
80 長安寺 様
92 泉溪寺 様
103 光真寺 様
175 本光寺 様

●茨城県
32 龍泰院 様
39 常安寺 様
57 常安寺 様
108 海禅寺 様
134 大統寺 様
183 随翁院 様
191 法光寺 様

●千葉県
2 宗胤寺 様
7 満蔵寺 様
8 重俊院 様
28 長福寺 様
29 慶林寺 様
39 長榮寺 様
62 龍湖寺 様
74 広済寺 様
76 全宅寺 様
95 寶應寺 様
161 大林寺 様
185 勢國寺 様
194 中滝寺 様

●山梨県
57 宗禅寺 様
232 圓通寺 様
558 安福寺 様

●静岡県第1
6 瑞龍寺 様
50 盤龍寺 様
61 長光寺 様
77 龍泉院 様
83 洞福寺 様
95 久應院 様
131 見性寺 様
165 光明寺 様
185 三明寺 様
388 林叟院 様
461 心岳寺 様
495 普門院 様
501 養徳寺 様
510 龍雲寺 様

●静岡県第2
233 長光寺 様
240 医王寺 様
311 景徳院 様
319 源光院 様
321 円応寺 様
328 林泉寺 様
355 楞澤寺 様
362 福泉寺 様
363 観音寺 様
368 曹洞院 様

●静岡県第3
608 養勝寺 様
676 孤雲寺 様
678 宗心寺 様
831 正林寺 様
920 蓮覚寺 様
1208 法雲寺 様
1225 光明寺 様
1249 明光寺 様
1270 善住寺 様

●静岡県第4
1081 盛福寺 様

●愛知県第1
48 昌光寺 様
75 松音寺 様
96 全隆寺 様
112 太平寺 様
133 瑞泉寺 様
138 長翁寺 様
139 祇園寺 様
143 長福寺 様
165 慈眼寺 様
173 神藏寺 様
181 松元院 様
341 一心寺 様
342 常楽寺 様
354 広済寺 様
607 林宗寺 様
635 永澤寺 様
824 東昌寺 様
1092 地蔵寺 様
1140 恵林寺 様
1169 観音寺 様

●愛知県第2
684 花井寺 様
686 歓喜寺 様
784 長泉寺 様
827 西福寺 様
852 光福寺 様
891 潮音寺 様
972 桂昌院 様
997 真増寺 様

●愛知県第3
428 寶珠院 様
449 影向寺 様
572 松雲院 様

●岐阜県
28 観音寺 様
133 福寿寺 様
148 円頂寺 様
154 瑞現寺 様
190 長久寺 様
219 勝林寺 様
240 林陽寺 様
245 良守寺 様

●三重県第1
11 真如寺 様
24 一心院 様
37 四天王寺 様
38 傳法寺 様
143 養泉寺 様
159 常足庵 様
183 光徳寺 様
246 宝泉院 様
316 剣光寺 様
350 安楽寺 様
364 観音寺 様

●三重県第2
408 東正寺 様

●滋賀県
60 大雲寺 様
160 長谷院 様

●京都府
6 天寧寺 様
67 苗秀寺 様
70 護国寺 様
73 春現寺 様
161 禅福寺 様
345 妙性寺 様
355 龍献寺 様
359 廣通寺 様
374 等楽寺 様
389 万福寺 様

●大阪府
26 天徳寺 様
88 正俊寺 様
109 法蔵寺 様

●奈良県
68 景徳寺 様

●兵庫県第1
30 岡本寺 様
287 向榮寺 様
418 永勝寺 様

●兵庫県第2
149 瑞光寺 様
154 鷲住寺 様
173 瑞雲寺 様
228 豊楽寺 様

●岡山県
1 円通寺 様
28 洞松寺 様
69 円福寺 様
171 極楽寺 様
177 幻住寺 様

●広島県
7 伝福寺 様
27 清光寺 様
32 龍泉寺 様
43 宝福院 様
46 雙照院 様
58 宗光寺 様
76 長福寺 様
86 西金寺 様
102 潮音寺 様
115 醫光寺 様
146 福善寺 様
177 功徳寺 様
185 明福寺 様
196 観音院 様

●山口県
25 弘済寺 様
89 福田寺 様
102 保福寺 様
109 大楽寺 様
142 弥勒寺 様
224 円通寺 様

●鳥取県
1 興雲寺 様
27 景福寺 様
55 中興寺 様
70 隆光寺 様
82 吉祥院 様
127 住雲寺 様
134 精明寺 様
159 大祥寺 様
197 永福寺 様

●島根県第1
333 宝泉寺 様

●島根県第2
1 松源寺 様
47 弘長寺 様
59 清光院 様
63 龍覚寺 様
93 法恩寺 様
99 禅慶院 様
140 法蔵寺 様
144 福知寺 様
161 太林寺 様

●高知県
4 吉祥寺 様
8 永禅寺 様

●愛媛県
34 本光寺 様
91 安楽寺 様
93 長命寺 様
113 西禅寺 様
146 興雲寺 様
175 野間寺 様

●福岡県
102 能満寺 様
158 報恩寺 様

こころの時代（とき）にこころの旅（たび）を

国内団参・海外仏跡巡拝の事なら経験豊かなビーエス観光へお申し付け下さい。

ビーエス観光グループ

お坊さん婚活必得 2

惑いの三十路、「結婚って…？」

――「おっしゃん（和尚さん）。今年でいくつになったい？」

私「30ですが。」

――「結婚は？」

私「まだですが？」

――「んじゃあ、そろそろだなぁ」

私「そうですねぇ。お相手のあることですし…」

仏事後の精進落しの席で、いったい何回繰り返されたやり取りであろうか？　お檀家様方と結婚についての話をする時、どうにも引っかかるのだ。

「なぜ、結婚を勧めてくるのだろうか？」と。

お檀家様から私に結婚を勧める場合、親族のそれと少し趣が違うように思うのだ。つまり、「私の結婚＝お寺運営の安定化＝子供をつくる」というような安易な等式があるように思えるのだ。

日本において、「婚姻」を規定しているのは、憲法だ。

> **婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない**
> ――日本国憲法第24条1項

つまり、日本においては、両性の社会的・経済的人間的繋がりを結ぶ法的な「契約」とでもいえばいいだろうか？

二人の人間が「結婚しましょう」と契約する。私がイメージする結婚というのは、これが一番しっくりくる。だから、結婚という「契約」を迫る行為は、昼間掛かってくるよく分からない契約を勧める業者の電話の様に不当な事のように感じるのだ。まして、この契約は終身型であり、その維持には不断の努力が必要となる。慎重にならない方がどうかしていると思うのだ。結婚しても、必ず子が成せるわけでもない。

私が、結婚に幻想を持っているだけなのだろうか？　そもそも、僧侶にとって、結婚って一体何なのだ？

日本において確認される一番古い僧侶の妻帯は平安時代に遡り、大寺院の傍らにある「房」に夫婦で住み、子供をもうけていた方もいたそうだ。順源大法師という高僧が婚姻し弟子に怒られるという話もあり、その高僧はこう返すそうだ、「お釈迦様も〝人〟として生まれたのだ。女性は、仏にとって〝母〟なのだ。だから、排斥するべきものではない。」と。

さらに下って、檀家制度が成立した江戸時代。それまで修行で旅に出ていた僧侶が寺に定住する。『醒睡笑』（1623年もしくは1628年の完成。庶民の間に広く流行した話を集めた笑話集。安楽庵策伝の作。落語の祖ともいわれる浄土宗の僧侶）に「芋掘り僧」の話がある。芋掘り僧とは、次代の住職を探すときに、本当に力のある者に寺を相続させようとするわけでなく、親類縁者をつたい、甥だとかに相続させる姿が、山の芋は蔦を伝って探す様に似ていることから、そう呼ばれていたのである。

社会システムは淘汰されていくものであり、社会にとって「必要なもの」が残っていく。僧侶の妻帯もそういった社会システムの一つで、現代では利点が多いから選ばれている、ということは言えないか？

お檀家様の側からすれば、旧来の様に住職が数年に一度変われば、寺院の運営はお檀家様方がせざるを得ず、その労力と経済的な負担は今の比ではないだろう。更に住職が妻帯して子供ができたとなれば、後継者をコストが大きく削減される。

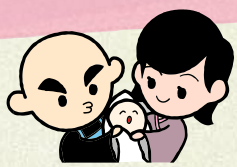
僧侶の側からすれば、現状で住職は宗教者であると同時に、実質的に「寺院の経営者」でもある。その点で妻帯は、経営面ではその業務を分担でき、修行面では自らの行動を規制し省みる機会を与えることの出来るシステムではないか？

先にも書いたように婚姻は「契約」だ。お互いの努力で結ぶ契約。お互い高め合って生活していこうと考えた二人が、そのための契約を結ぶ。修行の過程に婚姻があったとしても構わないだろうし、自然なことではないだろうか？

キリストの母マリアは、処女のまま受胎する。よってキリスト教で処女・童貞がある一定の宗教的な価値を持つ。なれど、お釈迦様は「人の子として生まれた」のである。信仰の対象が「結婚もしていたし、子供もいた」という事実は、重い。

※本稿の執筆に当たっては、曹洞宗総合研究センター研究員・菅原研洲師（全曹青法式委員会講師）に多大なるご助言を賜りました。

お寺暮らしのライフデザイン2



CASE #2　島根県益田市・妙義寺様
住　職　永見勝徳師
副住職　永見宏樹師(全曹青法式委員)

■聞き手
深町健司（ふかまちけんじ）

住友生命保険相互会社 松江支社基盤統括部 部長
1級ファイナンシャル・プランニング技能士(国家資格)
住友生命保険相互会社 松江支社
〒690-0003
島根県松江市朝日町484-16(住友生命松江ビル4F)
TEL(0852)22-2257

●**勝徳**　先代が幼稚園を始めたのは昭和5年で、今年で設立80年になります。最初は無料託児所として始まり、托鉢した浄財でお子さんを預かっていました。それが幼稚園になり、今から26年前に学校法人になりました。現代では共働きが多いので、保育園の指向が強くなっています。でも何で保育園(厚労省所管の児童福祉施設)じゃなく幼稚園(文科省所管の教育機関)をやっているのかというと、建学の精神である、お寺や仏さまと小さいときから縁を結んで、感謝したり手を合わす、親子共々そういう心が育って欲しい。この精神がなければお寺が関わる意味がありませんからね。経営的には非常に厳しいです。子どもがどんどん減っていますし、現状では「(経費の)持ち出し」もありますね。

■**深町**　お寺と幼稚園との兼務でご苦労されたことはありますか？

●**勝徳**　案外私は…、その時は大変だと思うんでしょうけれど、すぐに忘れると言うか(笑)。結構、楽しいですね。幼稚園が無くなったら子どもの声が聞こえなくなる。子どもの声がするお寺って、すごく活き活きとしているんですよ。でも、それが無くなったら寂しい。

■**深町**　将来は両法人の活動を、ご子弟である宏樹さんが継承されていくと思いますが、やはり以前から後継者として期待をされていたのでしょうか？

●**勝徳**　私もそうですが、檀家さんが強く望んでいましたね。ある時、永平寺で修行中だった宏樹に問いかけたんですよ。「帰って継ぐ気はあるか？」と。私は勝手に「3年いれば十分だろう」と思っていました。それが5年になり7年になり(笑)。彼も修行中に色んなことが見えてきたようなので、「もし、僧侶として別の道を選ぶのであれば、弟(次男)に継がしてはどうか」と。私自身は住職にしかなれないからと、この道を選んだつもりはありません。もし住職にならなくても、これで生きようという目標が他にもあったんですよ。でも敢えて選んで「ならせてもらった」んですね。それがあったので、彼に問いかけたんです。すると本人が「いずれは帰らせてもらう」と言いました。

●**宏樹**　これまで、言葉として「幼稚園とお寺をやりなさい」と言われたことは一度もないです。ただ、日頃の住職の姿を見て、「それを願っているな」とは感じていました。永平寺の環境は、一日の流れが決まったリズムの中で生活が出来る、それが心地よかったです。毎日を仲間とともに、坐禅が出来て、応量器で作法通りの食事が出来て、作務が出来て、勉強まで出来る。「なんて素晴らしい環境なんだ」とだんだんと導かれたように思います。片や、師寮寺に戻ってくると、檀家さんや園児を始め、色んな人と関わらなければいけない。そこにまだ馴染めないというか、未だに僧堂生活の心地よさから抜け切れていません。僧侶の立場とは別に、命を預かり、学校法人の経営者・教育者として、きちんと保護者の方から保育料も頂く。自分にそれをやれるのかという不安はありますね。でも、敢えてここでの生活を選んだのは、「ここで生まれ、育てて頂いたから」の一点ですね。お寺と幼稚園は相互に良い関係にあると信じているので、「出来る限り続けていかなければならない」という義務感が強いです。永平寺に、幼稚園の園長でありながら役寮をお務めの方がおられて、以前聞いたことがあるんですね。「園長と住職をやりながら、どうして永平寺に来られるゆとりがあるんですか？」って。すると「今は妻や後継者が手伝ってくれているが、自分も一時期幼稚園に深く関わって、一日中子どものことを考えていた時期があった。それを経てこそ、両立できるんだよ。」と言われました。私にとって、今ここで、僧侶として子どもたちと関わる生活も、精進そのものだと思っています。

■**深町**　通常、一般のオーナー企業さまの相続で後継者の方に渡す場合には、生命保険に会社としてご加入されておられますが。

●**勝徳**　そうですね。私も若い頃から、宗教法人と個人の生命保険、両方を掛けてきました。宗教法人で掛けたものは、葬儀費用や寺を出ていく家族への見舞金としての財源の一部と考えてきました。今日はこういう場を頂いて、互いの気持ちを初めて言葉にすることが多く、有り難く思います(笑)。

松渓山 智源寺を訪ねて

修行道場としての伝統を受け継ぐ

寛永二年(一六二五年)、宮津城主京極高広が母堂、惣持院殿松渓智源大禅定尼への追善として建立した寺。開山は心庵盛悦禅師である。京極家の隆盛に伴い、寛文元年(一六六一年)永平寺より僧録司の任を賜り、末寺九十一カ寺を抱えるまでの寺格となった。その後も丹後曹洞宗の束ね役を務め、修行道場としての伝統をいまなお受け継いでいる。

「紙本著色草花図」二十面●本堂の天井画。当時の京都画壇を代表する円山・四条派と土佐派の絵師20人が競作した傑作。京都府指定文化財

本堂●釈迦三尊を祀る。文化元年(1804年)の再建。宮津市内最大といわれる立派なお堂

かつては本堂の屋根に掲げられていた鬼瓦。京極家の家紋「平四目結」が見てとれる

丹後曹洞宗の僧録寺を務めた名刹

宮津市京街道沿いに臨む松渓山智源寺。宮津城主京極丹後守高広が、その母(毛利秀政の娘)惣持院殿松渓智源大禅定尼の菩提を弔うために建立した寺で、創建は寛永二年(一六二五年)五月。街道沿いの要所という地の利から、城下の防備の役割も兼ねたものと思われる。開山は、桂林寺十世・心庵盛悦禅師である。

時の隆盛を極めた京極家の繁栄に併せ、本寺もまた寛文元年(一六六一年)には永平寺より僧録司に任ぜられるまでの寺格となった。末寺は九十一カ寺にも及んだという。その名残りは、伽藍の各所に施された京極家の家紋「平四目結」からも窺い知れる。

しかし、京極家の歴史は、息子高国に家督を譲ったあとも高広が藩政に介入し続けたことから親子は対立する。さらには高国自身の悪政も災いし、寛文六年(一六六六年)お取り潰しとなった。その後、藩主は目まぐるしく代わるが、寺はその時どきの藩士や町人、檀家衆との関わりを深め、丹後曹洞宗の中心的な存在であり続けることができたのである。

藩主の菩提寺ではなかったことが、京極家改易後も寺が衰退することなく、名刹としての歴史を絶やさぬ道が歩めたと言えよう。

取材にご協力いただいた皆さま。四十一世・高橋信善住職を中央に、近畿管区理事の天野祐至師(左)と基幹事業委員会委員の橋垣憲光師(右)

僧堂●三十七世・原田祖岳老師が建立。毎朝4時半から坐禅の修行が行われる

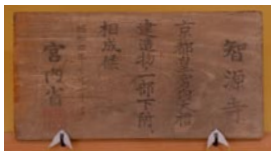
山門●左右に仁王を配した仁王門。通称「赤門」と呼ばれている

経蔵●この中に膨大な経文が収められている。ひと回しすることで読んだとされ、功徳にあたるという

本堂（正面）と庫裏（左）の立派な入母屋屋根。右手には庭園が広がる

鐘楼堂●梵鐘は京極高広の寄進による。お堂は文化元年（1804年）の再建

宝光殿●昭和天皇御即位式に用いられた御殿の一部を昭和4年、本寺に払い下げられたもの



その際、宮内省より賜った書状。昭和4年10月1日とある

京極高治切腹の際に飛んだ血のあとがいまも残る血染めの金屏風。本来はもう一幅との対をなした。桃山後期から江戸初期の作品

宮津の繁栄を偲び修行の精神を学ぶ

寛政九年（一七九七年）、火災により創建時の本堂は焼失する。その七年後の文化元年（一八〇四年）に再建された本堂の天井には、現在、京都府指定文化財となっている二十枚の草花図が描かれている。この画は、江戸後期に華々しい活躍をみせた円山・四条派を中心とする京都画壇の絵師が競作したもので、当時の宮津の繁栄が偲ばれる。北前船の寄港地としても栄えた宮津では、産物だけでなく文化や芸術の交流の場としてもおおいに賑わったのである。

なお、焼失からわずか七年で再建された本堂や庫裏の建立においては、最後の藩主、本庄家が中興開基として援助したとされている。現在の金額に換算すると数十億にも相当するといわれる費用を要する再建が七年でなせたのは、それゆえのことであろう。寺には、京極家と並んで本庄家の位牌が厳かに祀られている。

その他にも本寺に伝わる宝物としては、聖観音菩薩立像の黄金仏がある。文化八年（一八一一年）、藩主本庄宗発（むねあき）より下賜されたこの秘仏は飛鳥末期のものとされ、元興寺の高僧道昭の作といわれる。毎年七月二十七日の観音大祭にご開帳され、その法徳がいただけるということなので、参拝してみることをお勧めしたい。

庫裏の学習室で袈裟を縫う修行僧の方々。一針一針、返し針で一心に縫い上げられる

高橋信善（しんぜん）住職を囲む修行僧の方々。皆1～2年はこの寺に安居（あんご）されるという

また、一般の人に広く知られている修行には「坐禅会」があるが、この寺には常時十名近い修行僧がいまも安居（あんご）しているのである。格式ある専門道場としての伝統を受け継ぎ、厳しい修行や早朝の坐禅、作務に励む雲水僧の姿には心が洗われる。現在の僧堂は三十七世・原田祖岳老師が建立したものだが、この立派なお堂で坐禅を体験してみるのも、仏の心に触れるよい経験になるのではないだろうか。

（四十一世・高橋信善住職に伺う）

禅の美意識が凝縮されたかのような眺め。ふすま絵は明治期の作といわれる

京街道を見守るように安置された子安地蔵。峰山の名石工、二代目長谷川松助の作

宮津の歴史と景観

日本三景の景勝地 天橋立（あまのはしだて）

日本三景の一つ天橋立は、全長三・六キロメートル、幅二十～百七十メートルの砂礫（さいき）の堆積地形である。そこに八千本もの松の木が生い茂っている。

今から約四千年前、丹後半島の東側の河川から流れ出た砂が海流に流され、それが阿蘇海の海流とぶつかって、長い砂礫の帯をつくり出したのだ。その形が「天への架け橋」のように見えることから、この名が付けられた。

一方、古い書物によるとイザナギノミコト（男神）がイザナミノミコト（女神）の住む地に天上から通うため、天と地の間に長いはしごを架けて行き来していたが、ある日イザナギノミコトが寝ている間にはしごが倒れ、天橋立になったという神話も残されている。絶景ポイント「天橋立ビューランド」からの眺めは龍が天に昇るように見えることから“飛龍観”とも呼ばれている。

「天橋立ビューランド」から眺める“飛龍観”

天橋立の運河に架かる「廻旋橋」。橋桁が低いため船が通る際、橋が廻旋して開く

近世城下町の風情を残す 門前街

安土桃山時代の細川藤孝（幽斎）の宮津城築城に伴い、大手川を挟んだ対岸に城下が築かれた。その後、京極高広によって近世城下町の整備が整い、その姿は今もおおむね変わっていない。街を歩くと、格子戸や袖壁が残る町屋の家屋が点在し、なかでも城下屈指の豪商といわれた旧三上家住宅や、三百年以上の伝統を守り続ける袋屋醤油店などの建物が江戸城下の風情を偲ばせる。

袋屋醤油店。300年以上の伝統を今なお守り、営業を続けている

旧三上家住宅。城下屈指の豪商元結屋三上家の屋敷跡で国の重要文化財

旧街道と金引（かなびき）の滝

旧宮津街道を散策すると雄大な滝が現れる。高低差四十メートル、幅二十メートルに及ぶ「金引の滝」で、下流の白滝（はくりゅう）と臥龍（がりゅう）までを含めてこう呼ばれている。また、左右に流れ落ちる水の右側が“男滝”、左側が“女滝”とも呼ばれ、豊かな水量は年間を通して涸れることがない。

平成二年、天と地をつなぐ自然美の原点として「日本の滝百選」に選ばれた。

金引の滝。雄大に流れ落ちる水は四季を通じて涸れることがない

メメント 生死を想う⑤

（写真と文　國森康弘・フォトジャーナリスト）

西アフリカのブルキナファソ。
ある村の一人の病気の子と、五人の兄弟姉妹。
母は、わずかな食べ物を五人に与えた。

「信じられない――」
日本人女性のめぐみは、
「私なら病気の子に全部あげる」
と言う。

両者では、愛情の深さが違うのか。

そのとき自分のでき得る「精一杯」が、
それだった。
貧困下や戦時下では、
「種」を一粒でも多く守り、
残そうとする本能がより強く働く。
一粒のために五粒を犠牲にすることはしない。

母の愛は空よりも広く、海よりも深い。

（上）ほかの国でもよく見られることだが、ブルキナファソの女性は家事、育児、畑仕事など多くを担う。医師の数は圧倒的に少なく、6人で10万人を診る計算だ。病弱な子を遠い病院に入院させて何日も付き添うことは、ほかの子どもたちの健康を損なうことに直結する。平均寿命は51歳。

（左）その経済力に比して医師の数が少ないといわれている日本では、210人で10万人を診る計算。平均寿命は83歳。

國森康弘（Kunimori Yasuhiro）

プロフィール／神戸新聞記者を経て独立後、イラクやソマリア、スーダンなどの紛争地やブルキナファソ、カンボジアなどの経済貧困地を、国内では野宿者、元兵士、高齢者介護の現場等を取材。最新刊に『家族を看取る』（平凡社）。その他『証言沖縄戦の日本兵』（岩波書店）など。2008年度、2009年度上野彦馬賞入賞。URL www.kunimorifoto.net/

●発行所　全国曹洞宗青年会　〒105-8544　東京都港区芝2-5-2　曹洞宗宗務庁内　●発行責任者　久間泰弘　●編集責任者　板倉宣吾　●編集委員　釜田尚紀・倉島隆行・石黒英龍・伊藤暢道・岡本真宰・城市泰紀・紫安敬道・大室英暁・川口高裕・藤原敦・古山健一　●本誌編集部並びに発行部数に関するお問い合わせ先　〒699-0108　島根県八束郡東出雲町出雲郷816　宗淵寺内　FAX 0852-52-3083　板倉　●制作　マーケティングオフィスアゴラ　●デザイン　株式会社象形社　●印刷所　サンケイ総合印刷株式会社　●定価　一二百円

未来の話をしませんか。

住友生命

30年前、このウミガメのCMから、
「まあるいいのち」が始まりました。

ゆたかな未来づくりプロジェクト

♫～
ぼくから見れば
小さなカメも
アリから見ればきっと
大きなカメかな？
みんな おなじ
生きているから
ひとりに ひとつずつ
たいせつな いのち
伝わるぬくもり
まあるい いのち　JASRAC 出1008437-001

まあるいいのちが生まれて30年。

地球上すべての生き物のいのちを、大切に——そんな想いをこめたイルカさんの楽曲「まあるいいのち」。私たち住友生命のCMと共に誕生して、30年が経ちました。当時、このCMはカンヌ国際広告祭で銅賞をいただき、「まあるいいのち」も世代を超え、今でも多くの方々に愛されています。「いのちがたいせつ」。住友生命はこれからもこの歌のメッセージを原点に、こども絵画コンクールやサンゴ礁保全プロジェクトなどのCSR活動、「ゆたかな未来づくりプロジェクト」を進めてまいります。大切ないのちを育む明るい社会の実現を。それが、住友生命の願いです。

住友生命保険相互会社
本社　〒540-8512　大阪市中央区城見1-4-35　　東京本社　〒104-8430　東京都中央区築地7-18-24

生命保険に関するお問合わせ・お手続きについては
スミセイコールセンター（通話料無料・全国からご利用可能）
0120-307506（みんなコール）
受付時間（日・祝日・年末年始を除く）
月～金曜日 午前9時～午後6時　土曜日 午前9時～午後5時

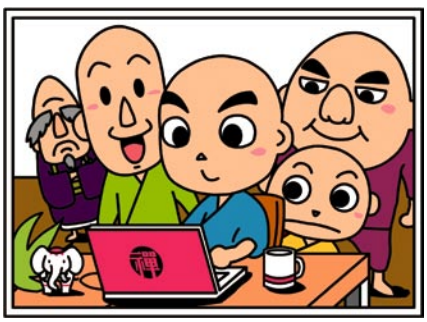
＜http://www.sumitomolife.co.jp＞

全国曹洞宗青年会ホームページ「般若」

全曹青　般若　検索

全国の曹青会活動をつなぐ情報サイトです。
どうぞ御利用下さい！
特設ページ「SouSei on web」（パスワード制）は、誌上の補足情報や特別コンテンツが満載です。

＊パスワード「1890」を入力して下さい。



イラスト：広瀬知哲　http://www.we2ya.jp

お寺のホームページは欲しいけど、自分で作るのは大変そう…。

でも、業者に委託して作れば高額な経費がかかるし…。

今すぐ SanGa

http://www.sousei.gr.jp/sanga/ にアクセス！

無料

全国曹洞宗青年会のSanGaで寺院ホームページを作りませんか？

全曹青では、日頃からご支援いただいている全国の曹洞宗御寺院専用の無料ホームページ『SanGa』を制作いたしました。この『SanGa』を使えば、お寺の基本情報・地図・年間行事・歴史由来・告知などを掲載したホームページを簡単に作ることができます。是非この機会にお寺のホームページをお作りいただき、山門行事の広報にお役立てください。